

1 単元 自動車会社をたずねて

2 目標

- 日本の自動車工業に関心を持ち、それを意欲的に調べ、国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 自動車工業の様子と国民生活を関連付けて、自動車工業が国民生活を支えるために果たしている役割について考えたことを言語などで適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 自動車工業について、具体的な調査活動や文章・写真からの情報、地図、統計などの資料を活用して適切に読み取り、調べたことや分かったことをノートやレポートなどにまとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- 工業生産に携わっている人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などはたらきを理解するとともに、自動車工業が国民生活を支えていることを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

小学校学習指導要領社会の第5学年の目標には、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにすること、社会的事象の意味について考える力を育てるようにすることが示されている。これを受けて本単元では自動車工業を例にして、工業製品が国民生活を支えていること、工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える運輸の働きなどを調査する学習を通して、自動車工業などの工業生産に関わる産業が国民生活を支え、国民生活の維持と向上に役立っていることを考える力を育てるようにする。

本学級の児童に対して「農業は私たちの生活とどのように結び付いていますか。」と問う実態調査(男子*名、女子*名、計*名)を行った。その結果、複数の語句を用いて、我が国の農業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしているという内容を記述できた児童は*人であった。他の児童は、米を作るなどの具体的な事実だけの記述が多く、農業に対しての社会的事象の意味を考えることができた児童は少ない。この調査結果より、学習を通して理解した具体的な事実を基にして、社会的事象の意味について考える学習活動が重要であると考えた。

そこで本単元では、事象間の関係を図に表し、考えの根拠を示しながら話し合う学習活動を通して、自動車工業の社会的事象の意味を考える力を育てていきたい。つかむ段階では、自動車の部品などを見て疑問に思ったことを基に学習問題を設定する。調べる段階では、調査活動として工場見学や販売店への聞き取り、保護者アンケートを行ったり、教科書の内容を調べたりする。まとめる段階では、調べたことを整理してそれぞれの事象の意味を記述したカードを作成し、そのカードを利用した関係図作成を通して自動車工業と国民生活との関連を考える。そして、考えの根拠を示しながら話し合いを行って自動車工業が国民生活に与える影響や役割について考えていく。

4 指導計画及び評価の観点(12時間扱い) ○が本時

段階	時数	学 習 活 動 ・ 内 容	関	思	技	知
つ か む	1	自動車の部品や工場の写真などから疑問点を発表する。疑問を基に単元の学習問題を決める。	○			
	2	自動車工業について調べたいことを付箋に書く。グループ内で分類・整理し、調査活動で何を調べるか視点を決める。	○			
調 べ る	3	見学に行く工場の所在地を確かめる。地図や人口分布の資料を参考にしながらそこに工場が建てられた理由を考える。			○	
	4	工場を見学して、生産ラインの様子を見たり、働く人たちの工夫や努力を見たり聞いたりして記録する。			○	
	5	工場で働く人たちが働きやすくするための工夫や、自然環境を守るための取組について調べる。				○
	6	関連工場で働く人たちの工夫や努力を調べて、関連工場のはたらきや自動車工場との結び付きを考える。				○
ま と め る	7	出荷された自動車が販売店に届くまでの輸送の仕方を調べ、運輸の仕事についての工夫や努力を考える。				○
	8	今までに学習した内容を四つの項目に整理し、分かったこととそれぞれの事象の意味を考えてカードに記述する。		○		
	9	カード間のそれぞれの関連性、共通性などを考え、理由も明らかにしてワークシートに記述する。それを基に関係図を作る。		○		
	10	自分が作った関係図から、生活とつながりが深い事象を選ぶ。ワークシートを使って自分の考えを整理し、考えの根拠を示す。		○		
	11	自分が選んだつながりが深い事象とその根拠をグループ内で発表し、意見をまとめる。全体で自動車工業が持つ社会的事象の意味を考える。		○		
	12	人々の要望に応えるための自動車づくりについて考え、レポートにまとめる。		○		

5 本時の学習

(1) ねらい

考えの根拠を示した話し合いを通して、自動車工業が国民生活に与える影響や役割を考えることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート 発表原稿 自分が作った関係図 発表ボード お返しメモ シール
話し合い進行表 グループの順位カード（黒板掲示用） 学習計画表 掲示用学習資料

(3) 展開

学習活動及・内容		指導上の留意点と評価 (◎は評価, □は個別の支援)
5分	1 本時の学習課題をつかむ。 自分が作った関係図を説明し、自動車工業は私たちの生活とどのようなつながりを持っているのか考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が作った「調査活動発見カード」の記載事項をすべて集計したものを紹介し、自動車工業と私たちの生活のつながりを考える意欲付けをする。
12分	2 グループ内で自分の考えを述べる。 <ul style="list-style-type: none"> 4人でグループを作り、1人あたり2分で発表する。 関係図と発表ボードを使って、自動車の生産や販売などのいくつかの事象と、私たちの生活とのつながりが深い事象の順位を、その根拠も含めて説明する。 聞く側は、発表の内容を自分の考えと比較しながらワークシートに記録する。 発表が終わったら、発表の感想の記入とどのくらい説得力があったかを示すシールを貼ったお返しメモを渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ司会者や発表の順番を決めておき、話し合いの進め方を記した話し合い進行表を使いながらスムーズに進行できるようにする。 発表するときは、前時に作成した発表原稿を活用したり、関係図や発表ボードを示しながら相手を納得させられるようにしっかり発表できるように助言する。 聞く側は、発表者の考えを聞きながら自分の考えと比較させる。 □自信がなく、声が小さくなる児童に対しては、前時に作った発表原稿の重要語句を再確認させ、自信をつけさせる。
6分	3 グループ内で意見をまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> それぞれの意見を比較し、共通点を探したり説得力のある意見を出し合う。 グループ内で相談してグループとしての事象の順位付けをする。 その順位にした理由を話し合う。 順位付けの結果とその理由を順位カードにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の意見を尊重することを前提とし、共通する意見や説得力のある意見を整理しながらまとめ、グループとしての順位付けをする。 それぞれが作った関係図を比較し合い、共通点を明らかにした上でその順位にした根拠も話し合わせる。 □話し合いになかなか参加できない児童に対しては、ワークシートから共通した意見を探して発表できるように助言する。
12分	4 全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 各グループが作った順位カードを黒板に貼り出す。 各グループが作った順位カードを見ながら、自動車工業は私たちの生活とどのようなつながりを持っているのかについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの発表で多かった意見を中心に話し合いを進めるが、少数意見にも目を向けて広い視点で生活とのつながりを考えられるようにする。 自動車工業が国民生活にどのような役割や影響を与えているかを問いかけ、本時のねらいを達成できるようにする。
10分	5 学習の振り返りをして、次時の学習を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに、自動車工業と私たちの生活のつながりについて考えたことを書く。 次時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">これからどのような自動車を作っていけばよいのだろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎自動車工業が国民生活に与える影響や役割を考えることができたか。 (思考・判断・表現 児童の発言 ワークシート) 本時の活動を生かして、次時の活動を行うことを確認し、目的を持って活動ができるように助言する。

単元の指導計画

1 単元の目標

- 日本の自動車工業に関心を持ち、それを意欲的に調べ、国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 自動車工業の様子と国民生活を関連付けて、自動車工業が国民生活を支えるために果たしている役割について考えたことを言語などで適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 自動車工業について、具体的な調査活動や文章・写真からの情報、地図、統計などの資料を活用して適切に読み取り、調べたことや分かったことをノートやレポートなどにまとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- 工業生産に携わっている人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などのはたらきを理解するとともに、自動車工業が国民生活を支えていることを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

2 単元の指導計画 (12時間)

時	おもな学習活動	指導上の留意点と評価 (評価は◎)
つ か む	1 私たちの生活と自動車工業のつながりを考えよう。 ○自動車の部品、パンフレット、工場や販売店の写真などの資料を見たり手に取ったりする。 ○資料を見て興味を持ったことや不思議に思ったことを発表し合う。 ○単元の学習問題を決める。 自動車工業は、私たちの生活とどのようなつながりを持っているのだろう。	・国民生活と自動車工業の関連を意識できるように発問を工夫する。 ・自動車工業を生産、販売、消費の三つの大きな視点に分けながら話し合いを進め、次時の学習につなげる。 ◎自動車工業が自分たちの生活に関連していることに気付き、進んで調べようとしている。 (関心・意欲・態度 児童の発言、ワークシート)
	2 自分が調べたいことを出し合い、調査活動の計画を立てよう。 ○生産、販売、消費に対する疑問を付箋に書く。 ○グループで相談して意見をまとめ、まとまりごとに付箋を画用紙に貼る。 ○いくつかの視点に基づきながら調査項目を決定する。	・質問したいことが幅広くなる可能性があるため、意見の類型化を十分に行い、調査活動の視点を明らかにできるようにする。 ◎前時、本時の学習を基に、自動車工業の不明な点や疑問点を整理して、意欲的に調査活動に臨もうとしている。 (関心・意欲・態度 児童の発言、ワークシート)
調 べ る	3 自動車工場はどのような場所に作られているのだろう。 ○見学に行く自動車工場の所在地を調べる。 ○写真、地図などの基礎的資料を見て、上三川町に自動車工場が作られた理由を考える。	・立地条件を考える際は、土地の条件、交通、労働力の観点から考えるようにする。 ◎工場全体や周辺の様子について、写真や地図などを照らし合わせて具体的に読み取ることができる。(技能 ワークシート)
	4 自動車工場を見学して、どのようにして作られているか、働く人はどのような努力をしているかまとめよう。 ○自動車の生産ラインを見学する。 ○働いている人の話を聞いたり、分からないことを質問したりする。	・限られた時間で効果的な見学ができるように、見学の視点を常に意識しながら見学できるように助言する。 ◎前々時に設定した視点に基づき、生産の様子や働く人の努力を整理しながらワークシートにまとめている。 (技能 ワークシート)
	5 働く人や地域の環境のために、どんな工夫をしているのだろう。 ○写真や資料を手がかりに、工場の人が働きやすくなるための工夫について調べる。 ○地域の環境を守るための取組について調べ、その工夫の意味を話し合う。	・資料を読み取る際は、複数の写真や資料を関連付けて読み取り、さまざまな視点で環境づくりの工夫を考えられるようにする。 ◎工場の人が働きやすくなるための工夫や、地域の環境を守るための取組を理解することができる。 (知識・理解 ワークシート)
	6 自動車工場と関連工場はどのように結びついているのだろう。 ○シートの生産から出荷までの流れを調べる。 ○シート工場と自動車工場の結び付きを考える。 ○関連工場で働く人の工夫や努力について調べ、関連工場のはたらきをまとめる。	・関連工場のはたらきを、ジャストインタイム、協力、といった言葉を用いてまとめられるようにする。 ◎自動車づくりを支える人々の協力や関連工場のはたらきを理解することができる。 (知識・理解 ワークシート)
	7 出荷された自動車は、どのようにして私たちのところまでとどくのだろう。 ○自動車が出荷され、販売店に届けられるまでの輸送の仕方について調べる。 ○日本の交通網の広がりについて調べる。 ○運輸の仕事についての工夫や努力を考える。	・工場や販売店で調査した内容を活用しながら図にまとめるようにする。 ◎工場から消費者のもとに自動車が届く流れを理解し、そこには多くの人が工夫や努力をしながら関わっていることを理解することができる。 (知識・理解 ワークシート)
ま と め る	8 自動車工業についてのこれまでの学習を整理し、「調査活動発見カード」をまとめよう。 ○調査内容の項目分けを行い、事象を整理する。 ○これまでの学習で分かったことをワークシートに記述する。 ○ワークシートの記述を基に、それぞれの意味を考えてカードを作成する。	・記述が進まない児童に対しては、個別に対応し、「なぜ」という問いかけをしながら事象の意味を考えていくようにする。 ◎自分が調べて分かったことと、自分なりに考えた事象の意味をカードにまとめることができる。 (思考・判断・表現 カード)
	9 自動車工業と私たちの生活のつながりが分かるように関係図を作ろう。 ○関係図を作る方法を聞く。 ○自分が作ったカードのそれぞれの関連性、共通性とその理由を考えてワークシートに記述する。 ○カードを貼り合わせて関係図を完成させる。	・関連性、共通性の意味を理解させ、それぞれのカードの関連性、共通性を明確にできるようにする。 ・自分が分類した根拠をワークシートに記述させる。 ◎事象間の関連性、共通性を明らかにしてそれらの関係を図に表すことができる。 (思考・判断・表現 関係図)
	10 関係図の中で私たちの生活とつながりが深いカードはどれだろうか。理由をよく考えて選んでみよう。 ○自分が作った関係図の中から、私たちの生活とつながりが深い事象を選ぶ。 ○ワークシートを使って考えを整理し、考えの根拠を示す。 ○発表原稿を作り、発表の準備をする。	・今までの学習を思い起こして、自分だったらという立場で大切な事象を選ぶようにする。 ・相手に伝えることを意識させ、根拠を示しながら考えが主張できる発表原稿を書けるようにする。 ◎関係図を基に、根拠を示しながら自分の考えをまとめることができる。 (思考・判断・表現 ワークシート)
	11 自分が作った関係図を説明し、自動車工業は私たちの生活とどのようなつながりを持っているのか考えよう。 ○自分が選んだ、つながりが深い事象とその根拠を、グループ内で発表する。 ○グループ内で意見をまとめ発表する。 ○全体で自動車工業が持つ社会的事象の意味を考える。	・前時に作成した発表原稿を活用して、考えの根拠を示しながら発表できるようにする。 ・友達の意見をよく聞いて自分の考えと比較できるようにする。 ◎自動車工業が国民生活に与える影響や役割を考えることができる。 (思考・判断・表現 児童の発言、ワークシート)
12 これからはどのような自動車を作っていけばよいのだろう。 ○自動車に乗る人が、自動車に対してどのような要望を持っているか調べる。 ○要望に応えるためにはどのような自動車づくりが重要か考え、レポートにまとめる。	・環境、安全、快適さ、ユニバーサルデザインなどの視点を持たせ、使う人の立場になって考えられるようにする。 ◎新しい自動車を開発することによって国民生活がより便利になっていくことに気付き、自分の考えをわかりやすく表現することができる。 (思考・判断・表現 レポート)	

自動車会社をたずねて 学習プリント⑧

5年 組 名前

自動車工業についてのこれまでの学習を整理し、「調査活動発見カード」をまとめよう。

◎これまで学習してきたこと

- 工場見学（自動車ができあがるまで、働く人の工夫や努力 など）
- 販売店聞き取り（仕事でうれしいこと、自動車が届くまで など）
- 教科書（工場の立地条件、関連工場、運輸、環境 など）
- 保護者アンケート（自動車と生活のつながり、要望 など）

◎カードの作り方

①それぞれの項目から分かったことを2つずつ選ぶ。

工場見学	①	が分かった。
	②	がわかった。
販売店聞き取り	③	が分かった。
	④	がわかった。
教科書	⑤	が分かった。
	⑥	がわかった。
保護者アンケート	⑦	が分かった。
	⑧	がわかった。

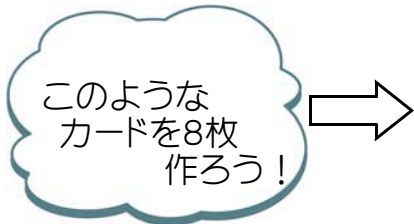
②ひとつひとつに対して自分の考えを書く。

(例) 工場ではロボットを使うことが分かった。



なぜかというと、

短時間で大量に作れるからだと思う。



調査活動発見カード ①
名前 ()
工場では
ロボットを使うことが分かった
なぜかというと、
短時間で大量に作れるからだと思う。

◎学習のふり返し

今日は調査活動発見カードを書きました。これまでの学習を整理してみ
てどんなことが分かりましたか。



自動車会社をたずねて 学習プリント⑨

5年 組 名前

自動車工業と私たちの生活のつながりが分かるように関係図を作ろう。

◎カードとカードの間にはどんな関係があるかチェックしてみよう

つながり（関連性） **おなじ**（共通性） **その他**

番のカードと 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

番のカードと 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

番のカードと 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

番のカードと 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

番のカードと 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

○ 番のカードと ○ 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

○ 番のカードと ○ 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

○ 番のカードと ○ 番のカードは
(つながりがある おなじである その他の関係)

理由

自動車工業を
いろいろな見方
で見ると
いろいろな関係
がつかめますね

◎学習のふり返し

自動車工業と私たちの生活はどのようにつながっていると考えましたか。関係図をよく見て考えてください。



自動車会社をたずねて 学習プリント⑩

5年 組 名前

自動車工業の中で私たちの生活とつながりが深いカードはどれだろうか？理由をよく考えて選んでみよう。

○関係図を見よう・・・

- たくさん関連をもっているカードはどれかな？
- たくさん共通をもっているカードはどれかな？
- たくさん消費とつながっているカードはどれかな？

自分が車を
使ったり買っ
たりする立場
になってみよう



このような見方をして、**私たちの生活とつながりが深いカード**を関係図の中から2つ選んでみよう。

○私が考えた「私たちの生活とつながりが深いカード」

選んだカード	このカードを選んだ理由
<input type="radio"/> 番 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> ことが分かった	----- -----
<input type="radio"/> 番 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> ことが分かった	----- -----

自分の考えを友だちに伝えるよ！！
友だちを「なるほど」と思わせるように
がんばりましょう。

○発表原稿

これから発表を始めます。発表ボードを見てください。自動車工業の中で私たちの生活とつながりが深いのは



です。

理由は

だと思ったからです。

関係図を見ると（関係図を指しながら）

ということが分かります。

もうひとつは



です。

理由は

だと思ったからです。

関係図を見ると（関係図を指しながら）

ということが分かります。

これで発表を終わりにします。

○学習のふり返り

今日は自分の考えに理由を付ける、という学習をしました。理由を付けることによって次回はどうのような話合いができそうですか？



自動車会社をたずねて 学習プリント⑪

5年 組 名前

自分が作った関係図を説明し、自動車工業は私たちの生活とどのようなつながりをもっているのか考えよう。

◎友だちの発表を聞いて自分の考えと比べてみよう

友だちの名前	自分の考えと比べて	どんなところが？
さん	同じ	-----
	似ている	
	ちがう	
さん	同じ	-----
	似ている	
	ちがう	
さん	同じ	-----
	似ている	
	ちがう	
さん	同じ	-----
	似ている	
	ちがう	

この中になるほどシールを貼ってもらいましょう

友だちの発表をよく聞きましょう
なるほどシール何枚あげようかな？

○グループのみんなで考えた順位付け
 「自動車工業で私たちの生活とつながりが深いのはどれ？」

	選んだ内容	選んだ理由
1位		-----
2位		-----
3位		-----

「なるほど！！」こういう考えもあるんだね

○学習のふり返り

自動車工業は私たちの生活とどのようなつながりをもっていますか。今まで学習した内容を思い出してあなたの考えを書いてみましょう。



話し合い進行表

1 グループ発表会

司会	(さん)			
発表順	①	(さん)	②	(さん)
	③	(さん)	④	(さん)
	⑤	(さん)			

司会「これからグループ発表会を始めます。発表する人は自分の考えをしっかりと述べて、聞いている人がなっとくできるようにしましょう。聞いている人は自分の考えと比べながら。」

「 ① さん、お願いします。」

「ありがとうございました。聞いている人は自分の考えと比べて気付いたことをプリントに書いてください。書き終わったらなるほどシールをはってあげてください。」

～この流れで全員行う～

司会「これでグループ発表会を終わりにします。」

2 グループ相談

司会	(さん)
----	---	--	-----

司会「これからグループ相談を始めます。ひとりひとりの関係図や発表ボードを見ながら、私たちの生活とつながりが深いものを3つ選んで順番を決めます。1人3回以上は意見を言えるようにしてください。」

～多かった意見や説得力のある意見をみんなで探して順位付けをする決まったらボードに記入する、理由もかならず（ネームペンで）～

～ボード記入が終わったら～

司会「これでグループ相談を終わりにします。」